

試 験 地 設 定

区分 指示

日向 営林署

(様式1)

開発課題	クヌギ混交林施業について				期間	自56年度 至60年度		
開発目的	二系造林の列間を利用する考え方から、ヒノキとクヌギの混交林を形成し、優良造材木の育成と併せて椎茸原木不足に対処する。							
設 定	場 所	営 林 署	担 当 区	国 有 林	林 小 班			
		日 向	都 農	尾 鈴	17 丁			
	数 量	面 積	数 量					
		2.00						
設 定 年 月 日	57. 3. 31	終 了 年 月 日						
担 当	営 林 局	課 係						
	営 林 署	経 営 課 造 林 係						
地 況 及 び 気 象	標 高	方 位	傾 斜	基 岩	土 壌 型	土 性		
	500	SE	中	花崗岩	BD(d)	細粒土		
	深 度	堅 密 度						
	20 ㎝	軟						

林 令	林 種	樹 種	混交率	胸高直径	樹 高	材 積	本 数	相対照度	下層植生
40	人工	スギ	30	21	14	125	500		シロモシ
		ヒノキ	30	18	12	75	470		アオキ
		クヌギ	10	18	12	25	160		サカキ
		他木	10	7	11	25	200		
HA造林			100			250	1330	20	

設 定 前 の 施 業 経 緯	<p>当該林地はスギヒノキの地位が低い。 1ha当たりの収獲量は250m³であり、今後の更新についてはヒノキ、クヌギの混交林を造成し、林地の肥沃度を高めながら、造材木の生育を促進させる施業方法の確立を図る。</p>
-----------------	---

全 体 計 画	<p>56年度 1 面積2.00HA クヌギヒノキ植栽。 植栽時、造材木の樹高測定。</p> <p>57年度 造材木の生育状況調査。</p> <p>58年度 57年度に同じ。</p> <p>59年度</p>
---------	---

- 記載要領
- 区分は指示、自主、任意課題別とする。
 - 全体計画欄は年度別、実施事項及び目標、また、林試等の指導関係を記入する。

試験地設定

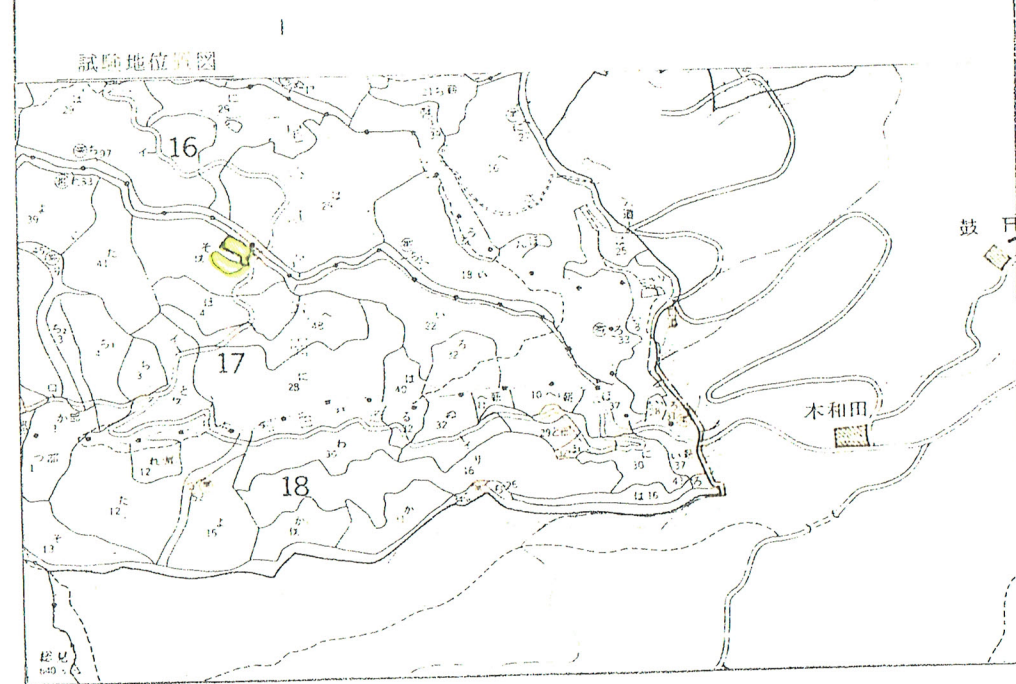
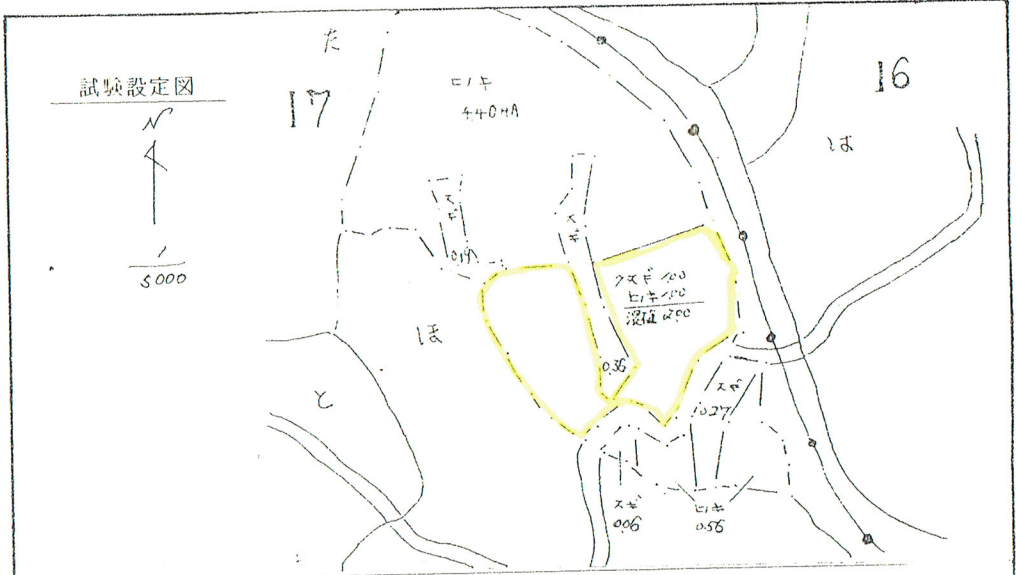
区分指示

日向 営林署

(様式2)

実施計画

1. 低地位林地の施業方法の確立。
2. 間伐時における収入の確保。
3. 伐採計画
 - 第一回目 クヌギ 15年目、ヒキ除伐
 - 第二回目 " 間伐
4. 更新方法
 - ヒキ若伐後は、ヒキのみ植付
 - クヌギは、ぼうが更新



記載要領 1. 実施計画は設定方法及び作業方法等具体的に記入する。

試験経過記録

区分指示

日向 営林署

(様式3-1)

調査 担当者	年月日～年月日	官職	氏名	研究発表 印刷等の 経過	年月日	事項
		57.2.21 ~ 58.2.21	営林水産技官		藤田知之	
	59.4.1 ~	"	永田安義			

試験 地 取 扱 経 過	調査年月日	作業の種類	面積 ha	人件		物		計 円	摘要
	延人員 人	金額 円		金額 円	摘要				
	57.4.	植付時調査	0.06	(2.0)					L型支柱 本, 標識板1枚
	57.7.7-8	生育状況調査	"	(4.0)					
	57.10.	成長量調査	"	(2.0)					
	58.10.	"	"	(2.0)					
	59.10.30	"	"	(2.0)					

記載要領 1. 試験地取扱経過欄には設定から試験調査のため行なった作業について経費の有無にかかわらず、逐次記入すること。
 2. 人件欄は臨時を裸書、基職を()書、常定を[]書とする。

(指示課題)

昭和57年度技術開発実施報告書

課 題	経 費 別 新 規	経 常	経 常 別 経 費 の 種 別	担 当	研 究 課	開 発 箇 所	日 向	期 間	予 算 年 度	技 術 開 発 科 目	経 費	品 名	数 量	単 価	金 額
											物件費	調査用品			千円
クヌギ混交林施業法		4-1			計画課		日向 宮崎	昭和56年度 昭和60年度		技術開発					
目的	九州の特用林産物である。しいげ生産は年々増加しており、地元の原木不足に対する国有林への供給の確保は増々強まるものと思われる。しいげ(Cx)とクヌギを混植し、しいげ原木生産と間伐等の組合せ、クヌギのほたけ更新、並にクヌギ(Cx)人工林を新置場に活用することにより合理的しいげ生産技術と施業方法を確立する。										役務費				
											人件費		人		
											計				
全体計画		実施経過		当年度分											
				実施計画				実施結果				評価および計画			
1. 調査方法 (1) 1列置にしいげ(Cx)とクヌギ交互に植栽する。 (2) しいげ(Cx)を2条並立を併し次にクヌギ(Cx)を2条並立を交互に並立を行う。 (3) 既植栽済の林分について(1)(2)のクヌギの植栽を行う。 (4) 既植栽林分天然クヌギの調査 (5) その他の植栽方法 2. 保存方法 3. クヌギの収穫としいげ(Cx)間伐の合理的伐出法の検討 4. 生長量調査 5. 収粒性の調査		1. 56年度 日向 日向 (1) しいげとクヌギの混植 面積4.00ha (2) しいげとクヌギの混植 宮崎 (1) しいげ10年生に混植するクヌギ、クヌギと共存させる整理伐を行う。 面積0.5ha		1. 試験地設定 (1) 植栽方法別試験地 (2) 植栽本数別試験地 2. 生長量調査 3. 保存方法及び収穫調査				1. 日向宮崎 設定地内の生長量調査を実施、対象区と変りなかった。 2. 宮崎宮崎 間伐後の植栽木の3mに、しいげ原木の生育は良好である。							

簡易文書
第 55 号

熊本宮林司 計画課長
(技術開発主任)



60回宮茅86号
昭和60年4月18日

(指示 課題)

昭和59年度技術開発実施報告書 (60.2.26付 対60-45)

日向 宮林署長 印

種 別	種別 新規	継続	経常 経常	担 当	造林 係長	開発 箇所	展覧用 17号林 種	期 56 ~ 70	予 算 科 目	技 術 開 発	経費	品名	数量	単価	金額 千円
	物件費											役務費			
目的	二条造林の列間を利用する考え方からヒキとクヌギの混交林を形成し、優良造林木の育成と併せて稚芽原木不足に対処する。										計				

全体計画	実施経過	当年度分		
		実施計画	実施結果	評価および普及計画
1. 56年度実験地設定 クヌギ混植による二条並列植 2. 調査項目 (1) 既往の二条造林地の現況調査 (2) 成長量及び形状調査 (3) 有機物の堆積調査 (4) 土壌構造の調査 3. 伐採計画 (1) クヌギ 15年目30年目 (2) ヒキ 間伐20~30年目	59年度 1. 59年10月現況調査 2. 60年3月20日 クヌギぼう芽促進のための切断処理 (1) 地上5cm部位切断20本 (2) 地上10cm " 20本 (3) 地上20cm " 20本 計 60本	造林木の成長量調査	1. 総成長量 ヒキ 平均根元径2.2 ^{cm} " 平均樹高144" クヌギ 平均根元径1.6 ^{cm} 平均樹高97" 2. 被害状況 野兎害 ヒキ 15本(再生見込10本) " クヌギ 24本(再生見込15本)	経過観察中



※ (課題) 欄は指示, 指導管理, 自主, 任意, 別を記入する。
目標との関連欄は 熊本宮林司技術開発目標 (59総計第188号) に別記号で記入する (例 1-(5))

試験経過記録

日向 営林署

課 題		クヌギ 混交林施業法													
1. 成長量の推移															
健					全	木	成 林 可 能 木 (被害木を含む)								
		植付時	57.4	57.10	58.10	59.10	60.10			植付時	57.4	57.10	58.10	59.10	60.10
ヒノキ	根元径	0.7	1.0	1.6	2.2			ヒノキ	0.7	0.9	1.5	2.1			
	樹 高	37	66	102	144			ヒノキ	37	60	96	137			
クヌギ	根元径	0.7	1.0	1.2	1.6			クヌギ	0.7	0.9	1.2	1.5			
	樹 高	38	57	73	97			クヌギ	37	55	69	93			

2. 時期別被害の推移

57.10 ヒノキ 野兎害 12本 (枯損 0本 再生したもの12本)
 " 乾燥害 2本 (" 1本, " 1本)
 クヌギ 野兎害 4本 (" 0本, " 4本)
 " 切 損 2本 (" 0本, " 2本)

58.10 ヒノキ 野兎害 1本 (" 0本, " 1本)
 クヌギ " 3本 (" 3本, " 0本)
 " 寒 害 12本 (" 6本, " 6本)
 " 切 損 3本 (" 0本, " 3本)

59.10 ヒノキ 野兎害 1本 (" 1本, " 0本)

59.10 現在 ヒノキ被害木15本のうち2本が完全に枯死した。クヌギは被害木24本でうち9本が枯損した。

記載要領 1. 調査結果及び考察を記入する。
 2. 状況写真は別途整理する。

試験経過記録

日向

60年3月20日 クヌギ ぼう芽促進のため切断処理を実施

- | | | | |
|-----|--------------------|------|-----|
| (1) | 地上 5 ^{cm} | 部位切断 | 20本 |
| (2) | " 10 ^{cm} | " | 20本 |
| (3) | " 20 ^{cm} | " | 20本 |
| | 計 | | 60本 |